【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成26年11月13日(2014.11.13)

【公開番号】特開2014-180372(P2014-180372A)
【公開日】平成26年9月29日(2014.9.29)
【年通号数】公開・登録公報2014-053
【出願番号】特願2013-55967(P2013-55967)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３３４
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０
Ａ６３Ｆ　7/02　３１２Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成26年9月25日(2014.9.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技媒体を用いて所定の遊技を行うことが可能な遊技機であって、
始動領域として第１始動領域および第２始動領域が設けられ、
遊技媒体を振り分けるための振分装置が設けられ、
前記振分装置は、
遊技媒体が当該振分装置に流入可能な流入口と、
前記流入口から流入した遊技媒体が通過可能な複数の通路と、
前記流入口から流入した遊技媒体を前記複数の通路のうちのいずれかに振り分ける振分手段とを含み、
前記振分手段は、前記流入口から遊技媒体が流入したことにもとづいて、前記複数の通路のうちの第１通路に遊技媒体を振り分けやすい第１状態と第２通路に遊技媒体を振り分けやすい第２状態とに所定の順序に従って切り替わり、
前記第１始動領域は、前記第１通路に振り分けられた遊技媒体が通過しやすい態様で設けられ、
前記第２始動領域は、前記第２通路に振り分けられた遊技媒体が通過しやすい態様で設けられ、
前記第１始動領域を通過した遊技媒体を検出する第１検出手段と、
前記第２始動領域を通過した遊技媒体を検出する第２検出手段と、
前記第１検出手段および前記第２検出手段によって遊技媒体が検出された順序が所定の順序と異なる場合に異常と判定する異常判定手段と、
前記第２始動領域を遊技媒体が通過しやすい第１動作状態と通過しにくい第２動作状態とに変化可能な可変入賞装置とを備え、
前記異常判定手段は、前記可変入賞装置が前記第２動作状態に変化しているときに、前記第１検出手段および前記第２検出手段によって遊技媒体が検出された順序が所定の順序と異なる場合に異常と判定するとともに、
前記始動領域を遊技媒体が通過したことにもとづいて、変動表示を実行する変動表示実行手段と、

未だ開始されていない変動表示について保留情報として記憶可能な保留記憶手段と、
複数の変動表示パターンのうちから１の変動表示パターンを決定する決定手段と、
複数の変動表示パターンのうちいずれの変動表示パターンとなるかを前記決定手段による決定前に判定する判定手段と、
前記判定手段により判定された変動表示パターンに対応して予告演出を、該判定の対象となった変動表示が開始される前に実行する予告演出実行手段とをさらに備え、
前記変動表示実行手段は、
前記決定手段により決定された変動表示パターンと前記判定手段により判定された変動表示パターンとが共通であるときには、実行されていた前記予告演出に対応した演出を変動表示において実行し、
前記決定手段により決定された変動表示パターンと前記判定手段により判定された変動表示パターンとが共通でないときには、実行されていた前記対応した演出を変動表示において実行しない、
ことを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
本発明は、遊技媒体を用いて所定の遊技を行うことが可能な遊技機に関する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
（手段１）本発明による遊技機は、　遊技媒体を用いて所定の遊技を行うことが可能な遊技機であって、
始動領域として第１始動領域（例えば、第１始動入賞口１３）および第２始動領域（例えば、第２始動入賞口１４）が設けられ、
遊技媒体を振り分けるための振分装置（例えば、振分装置２００）が設けられ、
前記振分装置は、
遊技媒体が当該振分装置に流入可能な流入口（例えば、流入口２０１）と、
前記流入口から流入した遊技媒体が通過可能な複数の通路（例えば、左側通路２０３、右側通路２０４）と、
前記流入口から流入した遊技媒体を前記複数の通路のうちのいずれかに振り分ける振分手段（例えば、振分部材２０２）とを含み、
前記振分手段は、前記流入口から遊技媒体が流入したことにもとづいて、前記複数の通路のうちの第１通路（例えば、左側通路２０３）に遊技媒体を振り分けやすい第１状態（例えば、図２（ａ），（ｄ）に示すように振分部材２０２が右側に倒れた状態）と第２通路（例えば、右側通路２０４）に遊技媒体を振り分けやすい第２状態（例えば、図２（ｂ），（ｃ）に示すように振分部材２０２が左側に倒れた状態）とに所定の順序に従って切り替わり（例えば、図２に示すように交互に切り替わる）、
前記第１始動領域は、前記第１通路に振り分けられた遊技媒体が通過しやすい態様で設けられ（例えば、図２および図３に示すように、第１始動入賞口１３は左側流出口２０５の下方に設けられている）、
前記第２始動領域は、前記第２通路に振り分けられた遊技媒体が通過しやすい態様で設けられ（例えば、図２および図３に示すように、第２始動入賞口１４は右側流出口２０６の下方に設けられている）、

前記第１始動領域を通過した遊技媒体を検出する第１検出手段（例えば、第１始動口スイッチ１３ａ）と、
前記第２始動領域を通過した遊技媒体を検出する第２検出手段（例えば、第２始動口スイッチ１４ａ）と、
前記第１検出手段および前記第２検出手段によって遊技媒体が検出された順序が所定の順序と異なる場合に異常と判定する異常判定手段（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ５６０におけるステップＳ２５０～Ｓ２５５を実行する部分）と、
前記第２始動領域を遊技媒体が通過しやすい第１動作状態（例えば、開放状態）と通過しにくい第２動作状態（例えば、閉鎖状態）とに変化可能な可変入賞装置（例えば、可変入賞球装置１５）とを備え、
前記異常判定手段は、前記可変入賞装置が前記第２動作状態に変化しているときに、前記第１検出手段および前記第２検出手段によって遊技媒体が検出された順序が所定の順序と異なる場合に異常と判定する（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ５６０は、ステップＳ１２２３でＮのときにはステップＳ１２２４を行わずステップＳ１２２５を実行して第２入賞回数カウンタをカウントしてステップＳ２５０～Ｓ２５５を実行する）とともに、
前記始動領域を遊技媒体が通過したことにもとづいて、変動表示を実行する変動表示実行手段と、
未だ開始されていない変動表示について保留情報として記憶可能な保留記憶手段（例えば、保留記憶バッファ）と、
複数の変動表示パターンのうちから１の変動表示パターンを決定する決定手段と（例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ５６０におけるステップＳ１０４を実行する部分）、
複数の変動表示パターンのうちいずれの変動表示パターンとなるかを前記決定手段による決定前に判定する判定手段と、
前記判定手段により判定された変動表示パターンに対応して予告演出（例えば、キャラクタ画像の表示）を、該判定の対象となった変動表示が開始される前に実行する予告演出実行手段とをさらに備え、
前記変動表示実行手段は、
前記決定手段により決定された変動表示パターンと前記判定手段により判定された変動表示パターンとが共通であるとき（例えば、始動入賞時の変動パターンの判定において「リーチ」に対応した変動パターンであると判定され、且つ、実際に開始される変動パターンも「リーチ」に対応した変動パターンであるとき）には、実行されていた前記予告演出に対応した演出を変動表示において実行し、
前記決定手段により決定された変動表示パターンと前記判定手段により判定された変動表示パターンとが共通でないとき（例えば、始動入賞時の変動パターンの判定において「リーチ」に対応した変動パターンであると判定されたが、実際に開始される変動パターンは「非リーチ」に対応した変動パターンであるとき）には、実行されていた前記対応した演出を変動表示において実行しない、ことを特徴とする。
そのような構成により、振分装置の異常判定を行うことができるので、振分装置の異常により遊技を正常に行えなくなることを防止することができる。